

北区GIGAスクール構想通信

みらい

令和5年
7月号

東京都北区教育委員会事務局教育振興部 学び未来課 (03-3908-9273)

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

桐ヶ丘郷小学校 4年国語「つなぎ言葉のはたらきを知ろう」

「しかし」や「だから」など、日常的に使っている接続語のはたらきを知り、正しく使い分けができることをねらいにした学習です。

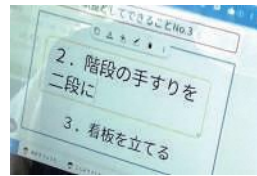
ロイロノートのシンキングツールを活用して自分の考えを比較・分類・関係づけなどを個別に行ってからグループで協議し、全体で共有することで、一人では気が付かなかった考えに気づき、学習を深めることができました。

児童が「きたコン」を使った効果的な学び方を経験することは、主体的に学び方を選択できる力につながると考え、校内研究として取り組んでいます。



袋小学校 5年社会「駅の改善について考えよう」

袋小学校の最寄り駅である JR 北赤羽駅について、「今の私にできること」と、「自分が駅長としてできること」を個人で考え、その後スクールタクトの共同閲覧モードで友達の考えに「いいね」やその理由をコメントで入れて、意見や考えを共有しました。



「案内板をもっと増やす」、「手すりを2段にする」など、児童からはたくさんのアイデアが出ていて、次の時間には実際に駅に見学に行き、自分の考えを確認したり、発展させたりすることになりました。

田端中学校 個別最適な学びと協働的な学びの充実

日常の授業では、生徒一人一人が自分ごととして問題を解決するために、柔軟に周りの人と関わるよう授業改善を進めています。

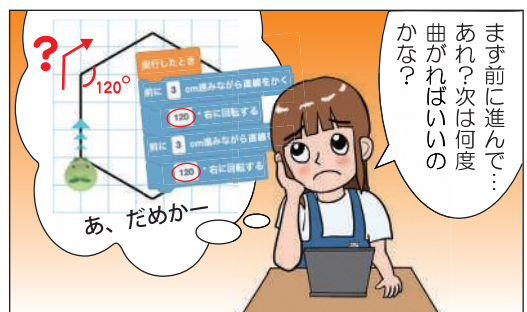
例えば、国語の授業では、授業支援アプリで自分の意見を出し合った後、「いいねマーク」を活用して相互に評価し合う活動を取り入れています。

また、音楽の授業では、鑑賞活動において感動する心や感性を大切にするために、板書は事前にスライドにすることで効率化を図り、感動を共有する時間を生み出しています。



「北区GIGAスクール通信 みらい」は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、学び未来課が毎月発行いたします。

きたちゃんコンちゃん by Toshi



※東京書籍のプログラミング教材より画像を引用しました。



安全安心な 北区版「スクラッチ」が誕生しました！

プログラミング教育で利用する教材のひとつに、「スクラッチ」というWebサイトがあります。命令のブロックを重ねていくだけで視覚的にプログラムをつくることができ、表現の幅が広いので**子供たちの論理的思考力の育成だけでなく、想像力や問題解決能力も高めることができます。**

しかし、スクラッチには作ったプログラムを世界中に公開できたり、チャットで情報交換ができ

たりする機能があり、一部には夜遅くまで公開されたゲームで遊んだり、よくない情報を交換したりする問題が起きていました。

そこで、北区では区内のプログラミング教育研究所の協力を得て、必要な機能だけが使える北区版スクラッチ「きたらっち」を開発しました。安全な「きたらっち」を使うことで、これまで以上に北区のプログラミング教育を充実していきます。

